



矢野 昭三 議員

コロナ対策

病原菌等への取り組みは

町内各機関と連携を図る

答 大西町長

2月25日に黒潮町新型コロナウイルス対策推進本部を設置。感染予防、重篤化予防、情報周知、相談窓口への誘導強化、各種イベント等の中止、延期、規模縮小。各機関との連携強化及び町内事業所へ各種要請の基本方針を取りまとめ町のホームページへ掲載した。

各機関との連携強化は、保健所との連絡、商工会を通じての情報周知や幡多医師会からの情報提供等に取り組んでいる。宿泊施設には厚生労働省、保健所からの通達に加え、一層の衛生管理の要請を行ってきた。住民税の申告期限を3月31日まで延期。

小中学校の臨時休校に伴い、保護者の負担軽減のための昼食の提供。職員には出勤前の自宅等で検温、庁舎内の換気通知等を行った。

問 目に見えない新型コロナウイルスへの取り組み状況は。現状、発症原因が不明で薬もない。対策として公共の全施設の入りに流水の手洗い、うがい施設が必要だが、直ちに施設の改善はできないか。

自然環境

人工林の伐採調査を

施業後環境調査定期的に

問 立木価格が低迷続きのため、人々が山から静かに流出している。伐採の時期になっても素材生産は極めてわずかであり、

経済だけでなく環境面からも大きな課題となっている。人工林は管理を十分しないと腐葉土などが流出し温暖化が進行して様々な被害をもたらす。更に魚類の生息環境も悪化し、沿岸漁業不振が一層激しくなる。

答 改善の方向を探るために調査を行い、その成果を行政に反映するか。

問 今西海洋森林課長 施業後の環境調査は定期的に行う。質問が有ったような調査は行っていない。



伐採しても、場所により採算が合わない

産業振興

魚類水揚げ向上対策は

手数料補助で促進を

問 カツオをはじめ魚類の水揚げは将来を見据えて様々な対策を講ずる必要がある。どの様に考えているか。

答 今西海洋森林課長

これまで佐賀漁港へ水揚げされるカツオに限定して水揚げ手数料に対する補助を行ってきた。

令和2年度からは拡充により、町内の漁港で水揚げされる全ての魚種について水揚げ手数料の補助を行うことで黒潮町への水揚げ促進を図る。

また、県漁業就業支援センターと連携し新規就業者の呼び込みを図り、課題解決に努める。

【その他の質問】

- ・山林の評価について
- ・防災について